

R8 現年 単県公共 実施設計

地区名	屋敷地区		
屋敷地区急傾斜地崩壊対策工事（2工区）			
図名	平面図		
位置	鳥取市福部町粟谷		
縮尺	1:500	単位	M
図号	全 13 葉中の内 1		
令和 8 年度施工	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			
(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)			

5.2

120

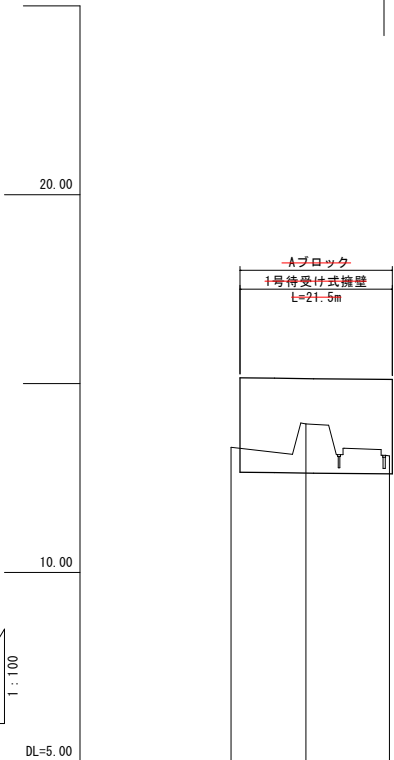
KBM. 2
H=11.487

KBM. 2
H=11.487

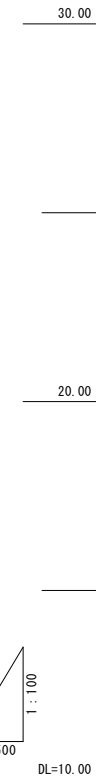
KBM. 1
H=21.500

AN0.1+4.38 横断溝 B=250 H=300
敷高H=12.77

AN0.1+10.35 横断溝 B=250 H=300
敷高H=12.75



勾配			
計画高			
地盤高		13.31	13.93
追加距離	0.00	9.95	21.00
単距離	0.00	9.95	11.05
測点	AN0.0	AN0.1	AN0.2



勾配																		
計画高																		
地盤高		20.57	20.08	20.33	21.05	18.59	18.48	18.65	19.17	18.98	19.45	20.80	23.03	23.34				
追加距離	0.00	16.29	21.25	36.80	49.26	51.80	58.18	65.90	73.97	82.17	90.84	103.72	112.99					
単距離	0.00	4.96	15.55	12.46	2.54	6.38	7.72	8.07	8.20	8.67	12.88	9.27						
測点	BNO.0	BNO.1	BNO.2	BNO.5	BNO.6	B1.P.	BNO.7	BNO.8	BNO.9	BNO.10	BNO.11	BNO.14	BNO.15					

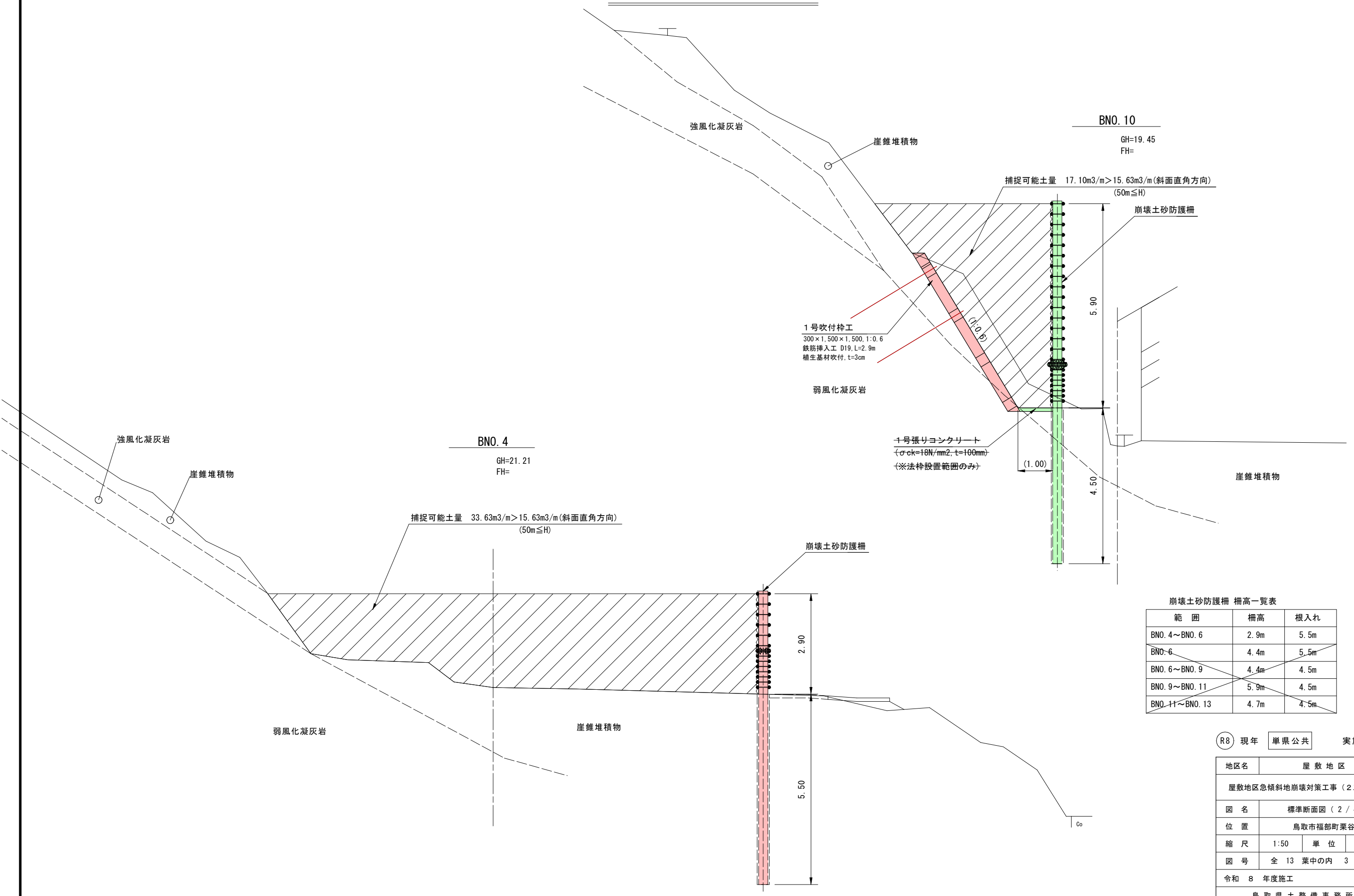
※B路線 BNO.0~BNO.3は、ペーロケ断面によるものです。
また、変更によりBNO.3、BNO.4は縦断面図に表記していません。

R8 現年 単県公共 実施設計

A, B路線	
地区名	屋敷地区
屋敷地区急傾斜地崩壊対策工事(2工区)	
図名	縦断面図(1/2)
位置	鳥取市福部町栗谷
縮尺	V=1:100 H=1:500
単位	M
図号	全 13 葉中の内 2
令和 8 年度施工	鳥取県
鳥取県土整備事務所	

(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)

標準断面図 (その2)



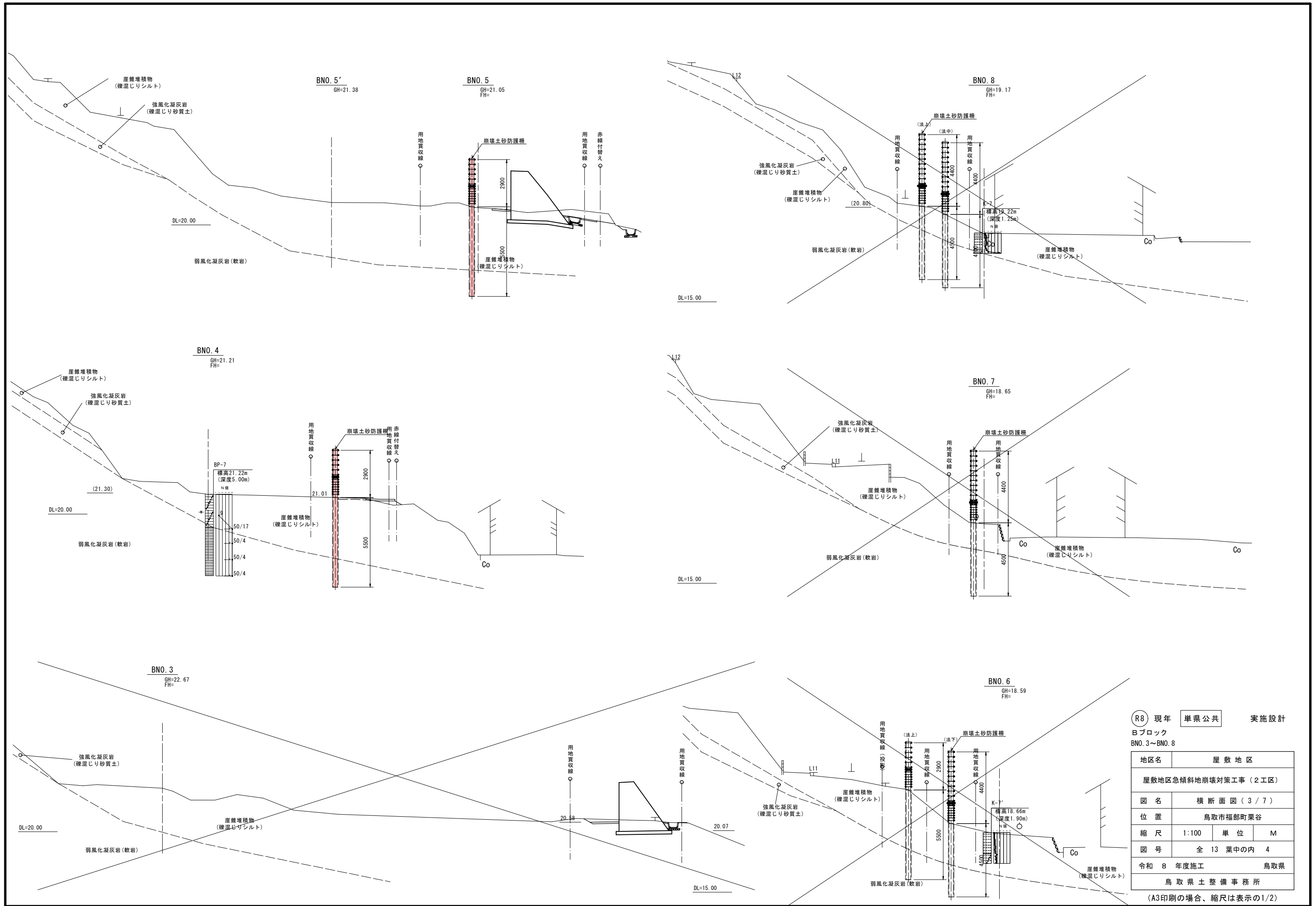
崩壊土砂防護柵 柵高一覧表

範囲	柵高	根入れ
BNO. 4~BNO. 6	2.9m	5.5m
BNO. 6	4.4m	5.5m
BNO. 6~BNO. 9	4.4m	4.5m
BNO. 9~BNO. 11	5.9m	4.5m
BNO. 11~BNO. 13	4.7m	4.5m

(R8) 現年 単県公共 実施設計

地区名	屋敷地区		
屋敷地区急傾斜地崩壊対策工事 (2工区)			
図名	標準断面図 (2/4)		
位置	鳥取市福部町栗谷		
縮尺	1:50	単位	M
図号	全 13 葉中の内 3		
令和 8 年度施工	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)

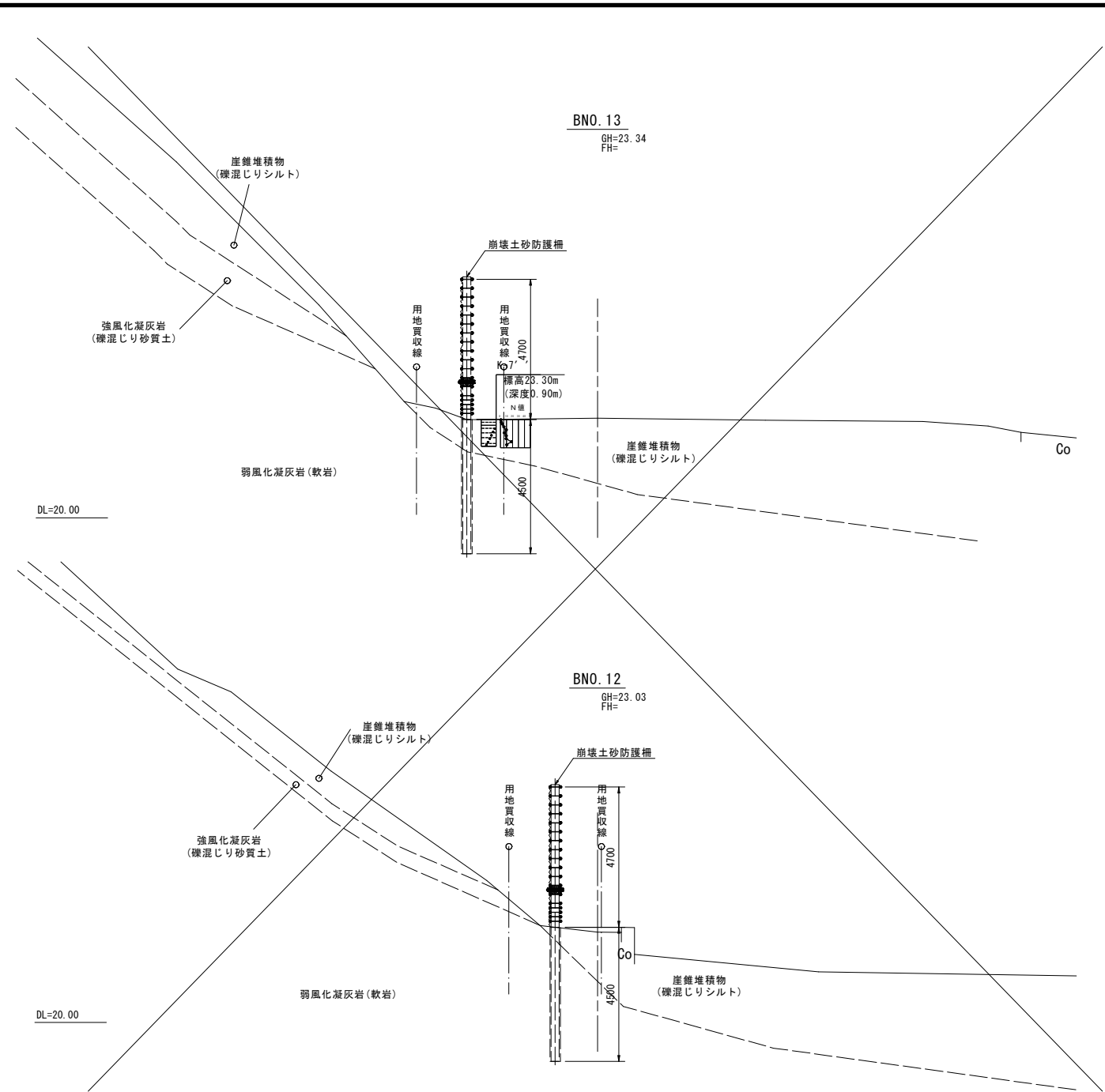
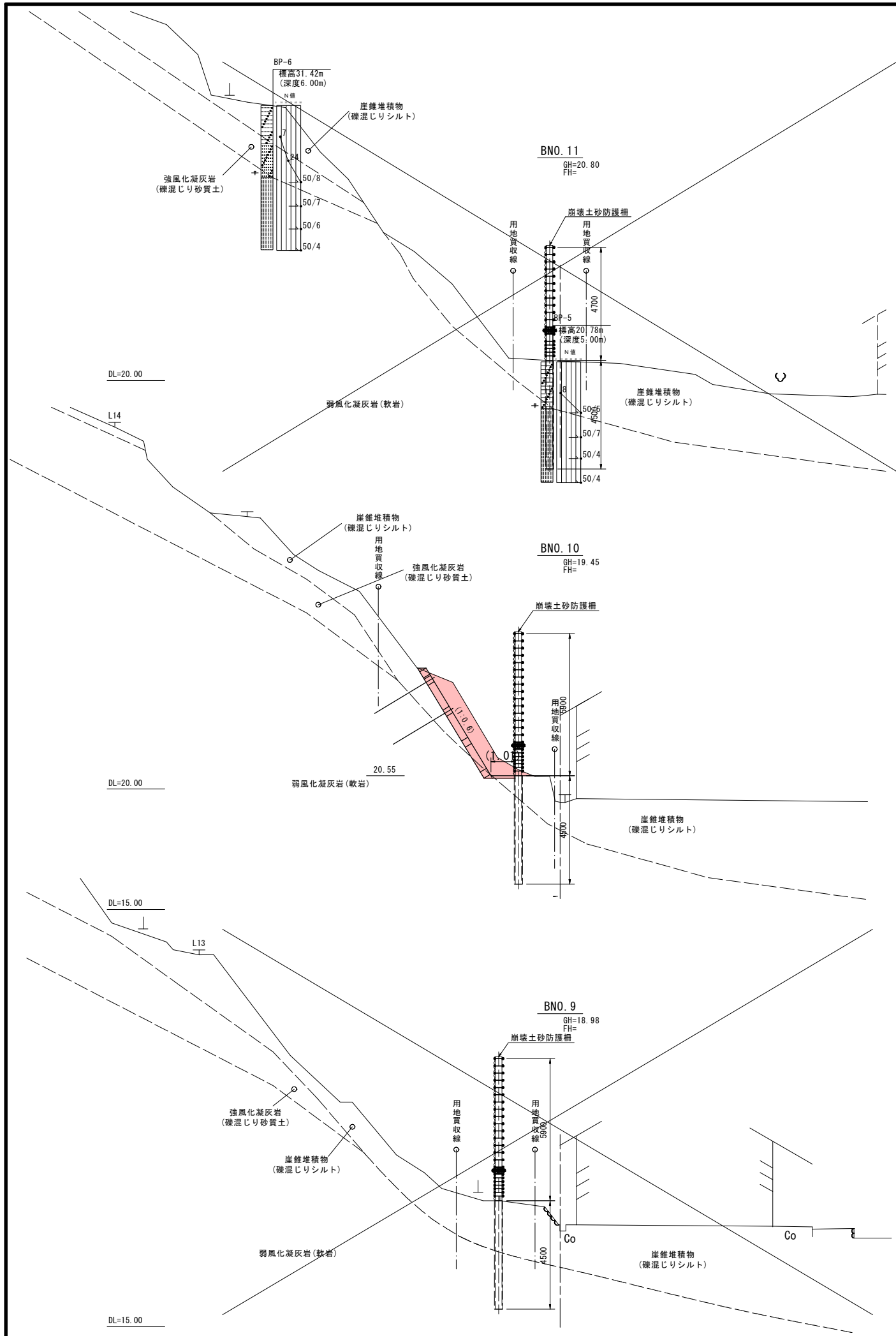


(R8) 現年 単県公共 実施設計

Bブロック
BNO. 3~BNO. 8

地区名	屋敷地区		
屋敷地区急傾斜地崩壊対策工事(2工区)			
図名	横断面図(3/7)		
位置	鳥取市福部町栗谷		
縮尺	1:100	単位	M
図号	全 13 葉中の内 4		
令和 8 年度施工	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)



(R8) 現年 単県公共 実施設計

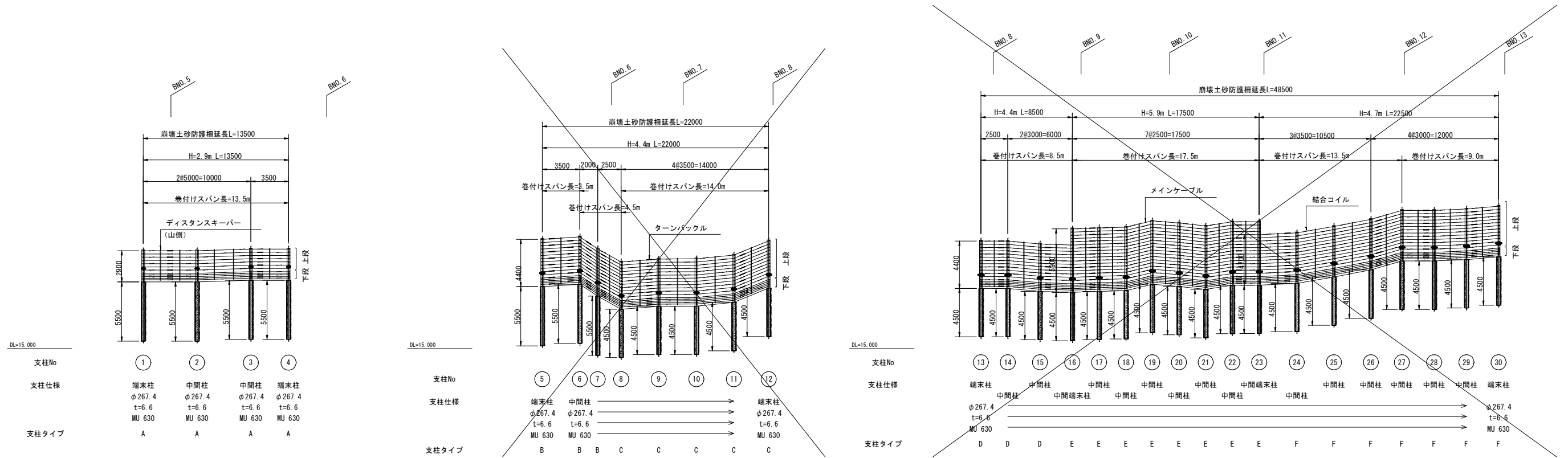
Bブロック
BNO. 9~BNO. 13

地区名	屋敷地区		
屋敷地区急傾斜地崩壊対策工事(2工区)			
図名	横断面図(4/7)		
位置	鳥取市福部町栗谷		
縮尺	1:100	単位	M
図号	全 13 葉中の内 5		
令和 8 年度施工	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)

崩壊土砂防護柵展開図

S=1:200



崩壊土砂防護柵(支柱No.1~4)

名称	仕様・寸法	単位	数量	摘要
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=8480mm	本	2	分割支柱 タイプA
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=8480mm	本	2	分割支柱 タイプA
ディスタンスキーパー	H=2.9m用	セット	5	
ターンバックル	W5/8×18	個	7	
ターンバックル	W7/8×18	個	5	
ひし形金網	φ4×50mm	㎡	39.15	
メインケーブル	7×19 φ18 L=27.70m	本	5	
メインケーブル	7×19 φ12 L=27.68m	本	7	
結合コイル	φ4×φ50×P50-400	個	48	

崩壊土砂防護柵(支柱No.5~12)

名称	仕様・寸法	単位	数量	摘要
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=8980mm	本	1	分割支柱 タイプC
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9980mm	本	1	分割支柱 タイプB
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=8980mm	本	4	分割支柱 タイプC
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9980mm	本	2	分割支柱 タイプB
ディスタンスキーパー	H=4.4m用	セット	6	
ターンバックル	W5/8×18	個	36	
ターンバックル	W7/8×18	個	15	
ひし形金網	φ4×50mm	㎡	96.8	
メインケーブル	7×19 φ18 L=28.70m	本	5	
メインケーブル	7×19 φ18 L=7.70m	本	5	
メインケーブル	7×19 φ12 L=28.68m	本	12	
メインケーブル	7×19 φ12 L=9.68m	本	12	
メインケーブル	7×19 φ12 L=7.68m	本	12	
結合コイル	φ4×φ50×P50-400	個	111	

崩壊土砂防護柵(支柱No.13~30)

名称	仕様・寸法	単位	数量	摘要
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=8980mm	本	1	分割支柱 タイプD
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9280mm	本	1	分割支柱 タイプF
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=8980mm	本	2	分割支柱 タイプD
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9280mm	本	6	分割支柱 タイプF
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=10480mm	本	6	分割支柱 タイプE
中間端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=10480mm	本	2	分割支柱 タイプE
ディスタンスキーパー	H=5.9m用	セット	7	
ディスタンスキーパー	H=4.7m用	セット	7	
ディスタンスキーパー	H=4.4m用	セット	3	
ターンバックル	W5/8×18	個	55	
ターンバックル	W7/8×18	個	20	
ひし形金網	φ4×50mm	㎡	246.4	
メインケーブル	7×19 φ18 L=35.70m	本	5	
メインケーブル	7×19 φ18 L=27.70m	本	5	
メインケーブル	7×18 φ18 L=18.70m	本	5	
メインケーブル	7×19 φ18 L=17.70m	本	5	
メインケーブル	7×19 φ12 L=35.68m	本	17	
メインケーブル	7×19 φ12 L=27.68m	本	13	
メインケーブル	7×19 φ12 L=18.68m	本	13	
メインケーブル	7×19 φ12 L=17.68m	本	12	
結合コイル	φ4×φ50×P50-400	個	331	

R8 現年 単県公共 実施設計

- ※1 支柱間隔は斜長距離
- ※2 図中の測点位置は、計画時の目安
- ※3 展開図は谷側から山側を捉えての表示

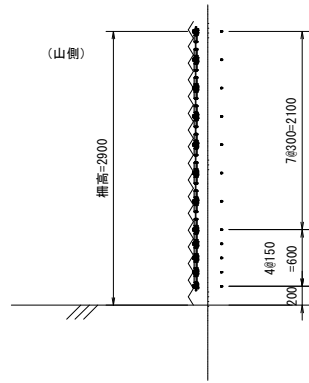
地区名	屋敷地区		
屋敷地区急傾斜地崩壊対策工事(2工区)			
図名	崩壊土砂防護柵展開図		
位置	鳥取市福部町栗谷		
縮尺	図示	単位	m
図号	全 13 葉中の内 6		
令和 8 年度施行	鳥取県		
鳥取県鳥取県土整備事務所			

(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)

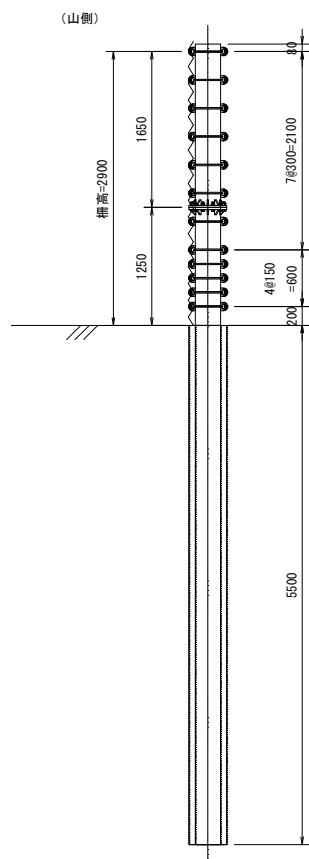
崩壊土砂防護柵一般構造図(1)

Eタイプ/柵高 H= 2.9 m 1:40

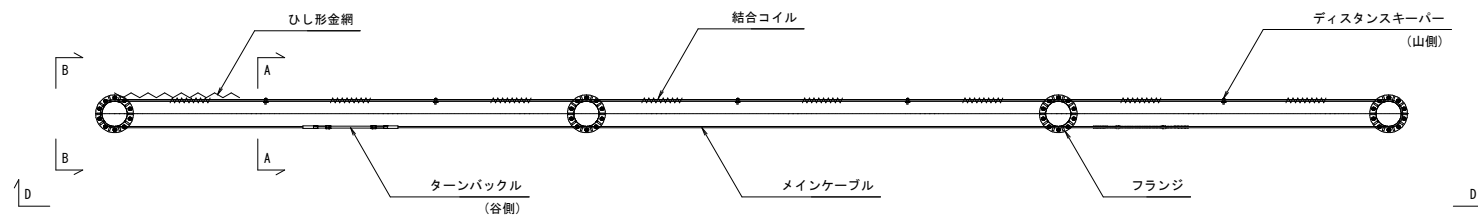
A - A 矢視図



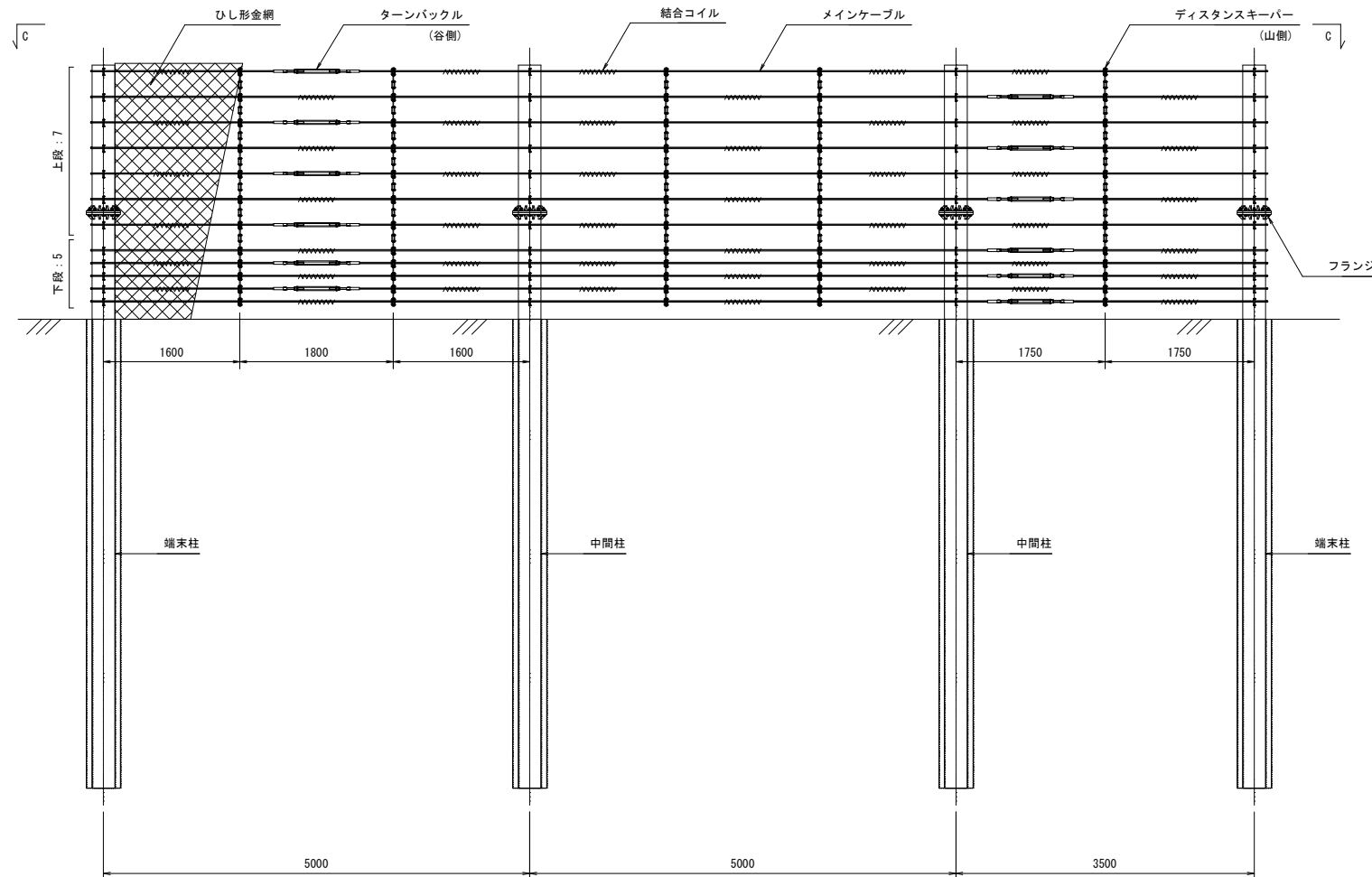
B - B 矢視図



C - C 矢視図



D - D 矢視図



部材仕様一覧

部材名称	仕様
端末および中間柱 分割支柱?支柱タイプA?	φ = 267.4 mm t = 6.6 mm (Mu = 630 kN-m) L = 5500 + 2900 + 80 = 8480 mm
メインケーブル	上段 φ = 12 mm 7×19 下段 φ = 18 mm 7×19
ひし形金網	φ = 4 mm 50×50mm

メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
3スパン巻き	

<安定計算等に用いる諸条件>

検討項目	記号	単位	使用値
堆積勾配	β	-	0
移動の高さ	h _m	m	1.0
土石等の密度	ρ _m	t/m ³	1.8
土石等の比重	σ	t/m ³	2.6
土石等の容積濃度	C	-	0.5
流体抵抗係数	f _b	-	0.025
衝撃力緩和係数	α'	-	1.0
移動時における土砂等のせん断抵抗係数	φ _k	-	25
崩壊土砂の単位堆積重量	γ _d	kN/m ³	18
崩壊土砂のせん断抵抗角	φ _d	-	30

R8 現年 単県公共 実施設計

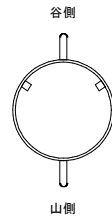
地区名	屋敷地区		
屋敷地区急傾斜地崩壊対策工事(2工区)			
図名	崩壊土砂防護柵一般構造図(1)		
位置	鳥取市福部町栗谷		
縮尺	1:40	単位	MM
図号	全 13 葉中の内 7		
令和 8 年度施工	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)

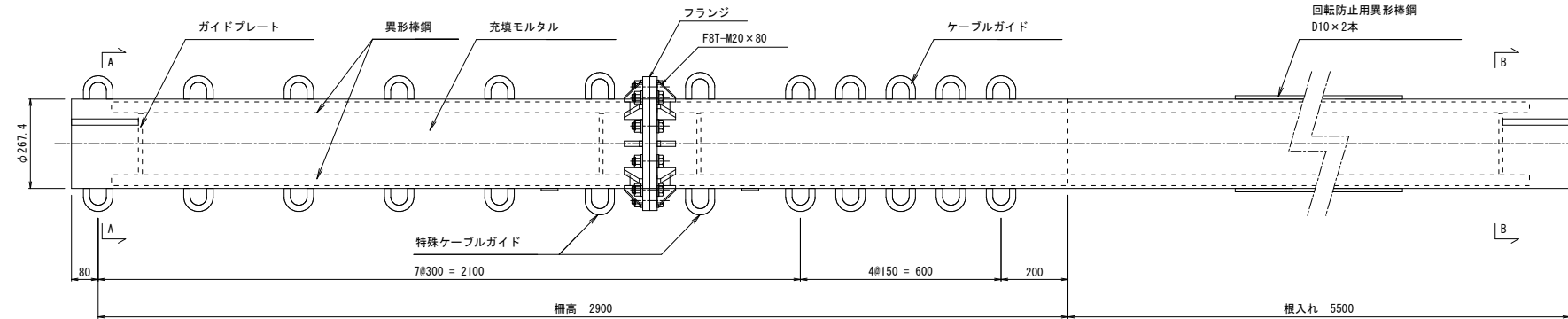
崩壊土砂防護柵部材詳細図(1)

端末および中間柱<支柱タイプA>
Eタイプ/柵高 H= 2.9 m

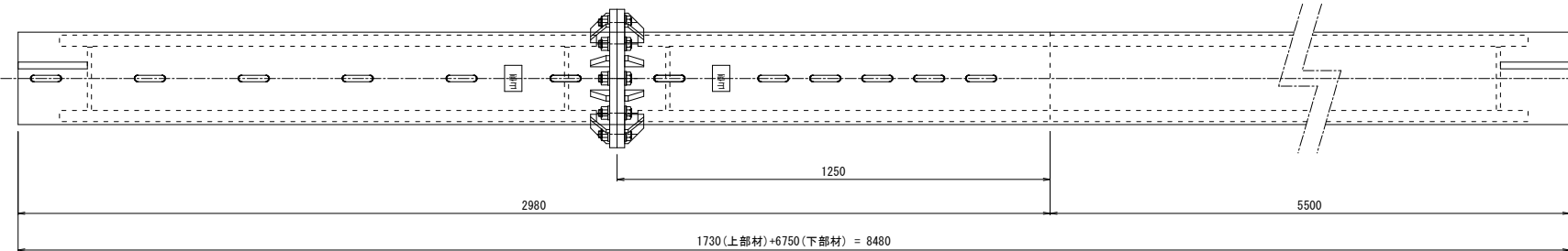
支柱平面図 S=1:10



支柱正面図 S=1:10



支柱側面図 S=1:10

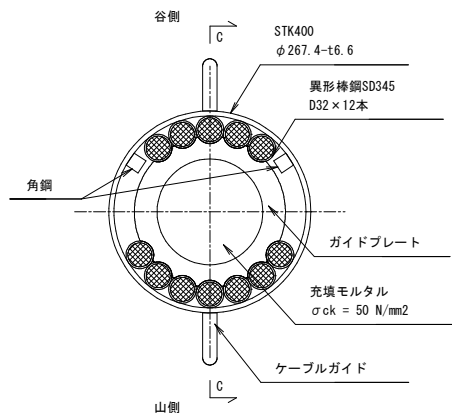


支柱断面図 S=1:5

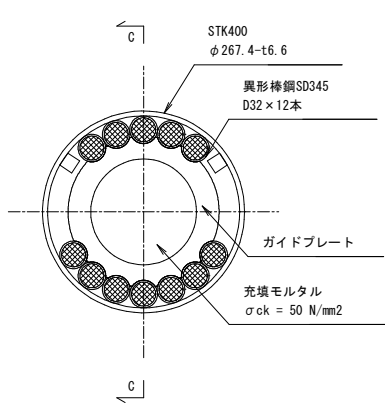
ガイドプレート詳細図 S=1:5

フランジ詳細図 S=1:5

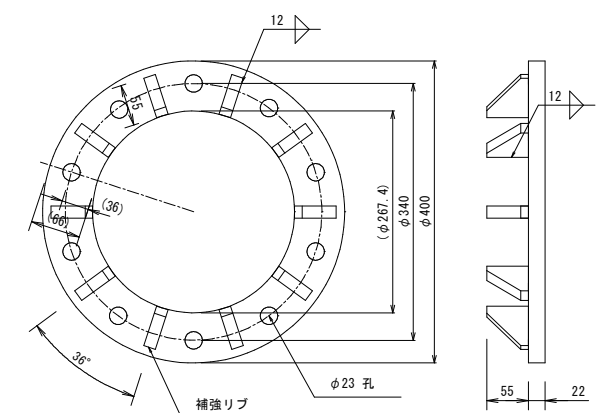
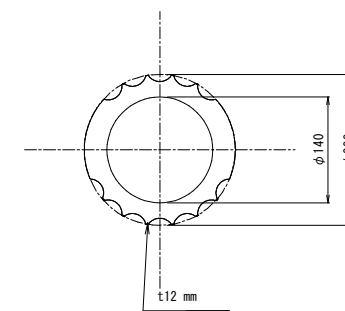
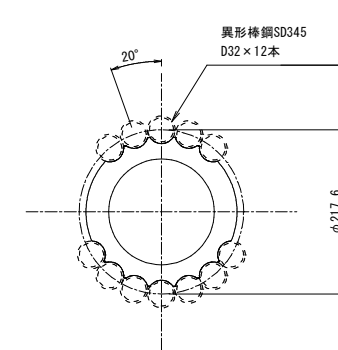
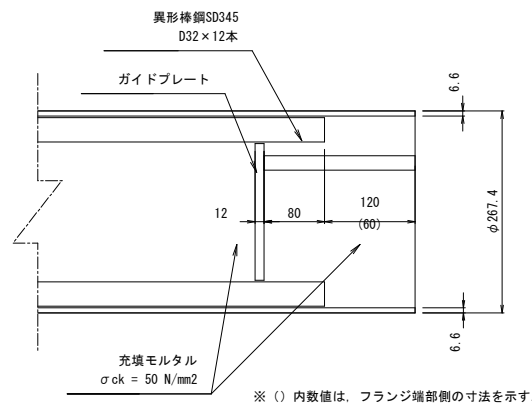
A-A 矢視図



B-B 矢視図

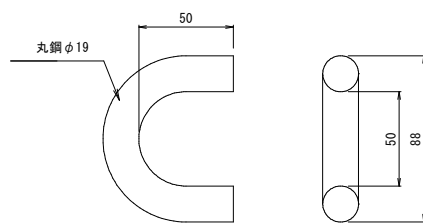


C-C 矢視図

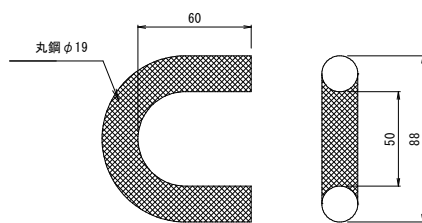


※ () 内数値は、フランジ端部側の寸法を示す。

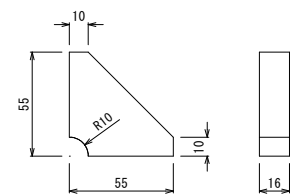
ケーブルガイド詳細図 S=1:2



特殊ケーブルガイド詳細図 S=1:2



補強リブ詳細図 S=1:2



特記事項

R8 現年 単県公共 実施設計

地区名	屋敷地区		
屋敷地区急傾斜地崩壊対策工事(2工区)			
図名	崩壊土砂防護柵部材詳細図(1)		
位置	鳥取市福部町栗谷		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 13 葉中の内 8		
令和 8 年度施工	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

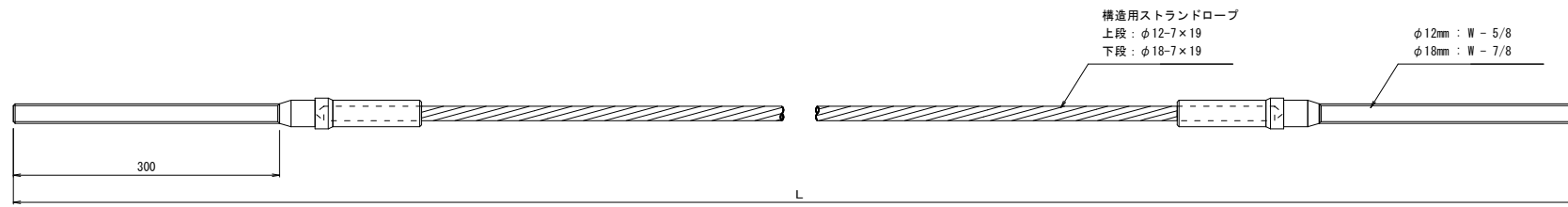
(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)

崩壊土砂防護柵部材詳細図(6)

Eタイプ/柵高 H= 2.9 m ~ 5.9 m

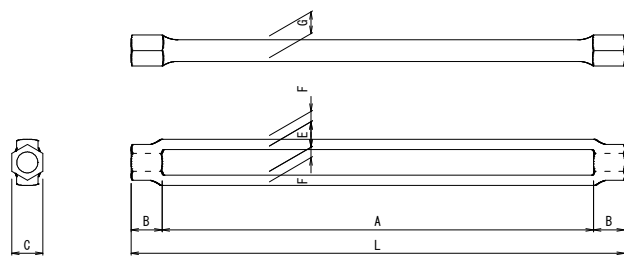
メインケーブル概要図

S=1:4



ターンバックル詳細図

S=1:4



ターンバックル寸法

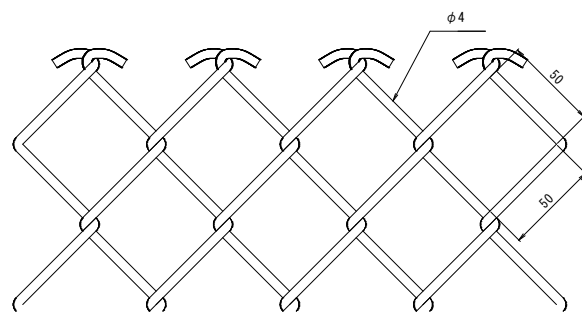
寸法 (公差±3%)		頭部長	頭平長	レン間隔	レン厚	レン幅	備考
A Inches (mm)	L (L=A+B+B)	B	C	E	F	G	
18"	457						
5/8	507	25	25	21	9	19	φ12mm用
7/8	523	33	33	27	11	23	φ18mm用

メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
7スパン巻き	
4スパン巻き	
3スパン巻き	
2スパン巻き	
1スパン巻き	

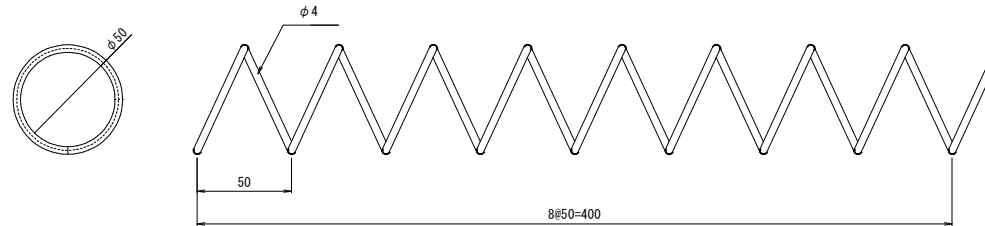
ひし形金網 詳細図

S=1:2



結合コイル 詳細図

S=1:2



特記事項

現年 単県公共 実施設計

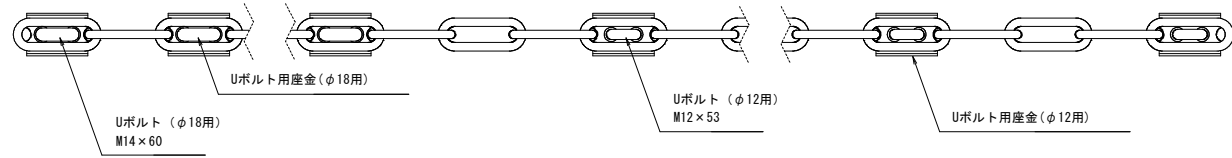
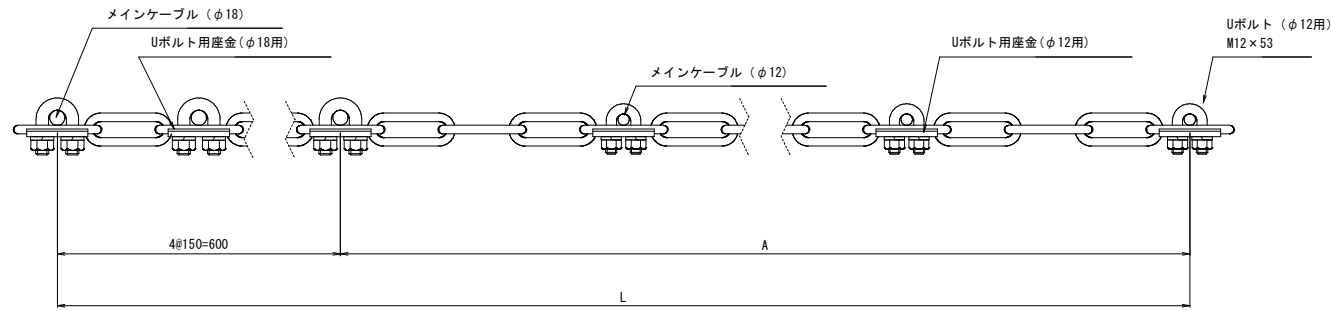
地区名	屋敷地区		
屋敷地区急傾斜地崩壊対策工事(2工区)			
図名	崩壊土砂防護柵部材詳細図(6)		
位置	鳥取市福部町栗谷		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 13 葉中の内 9		
令和 8 年度施工	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)

崩壊土砂防護柵部材詳細図(7)

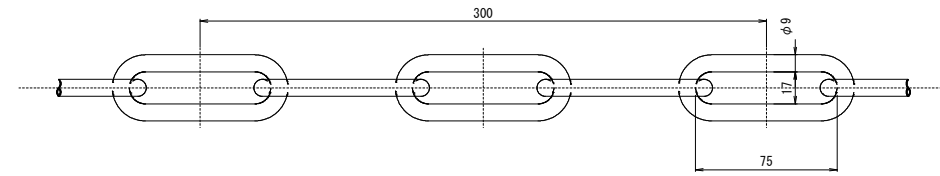
Eタイプ/柵高 H= 2.9 m, 4.4 m, 4.7 m, 5.9 m

ディスタンスキーパー構造図 S=1:4



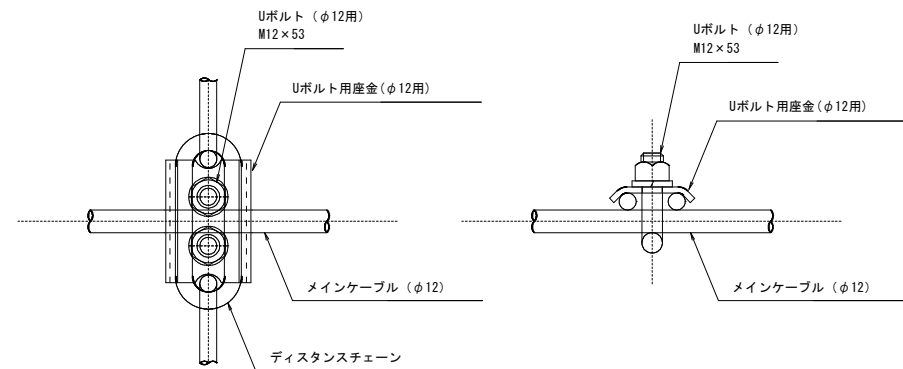
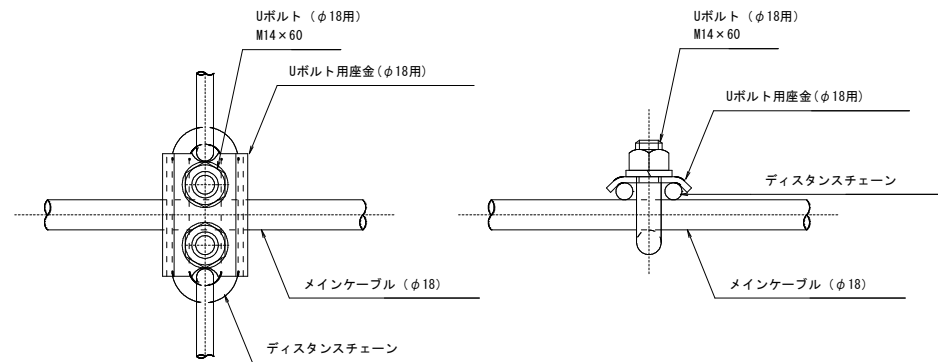
ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

ディスタンスチェーン詳細図 S=1:2

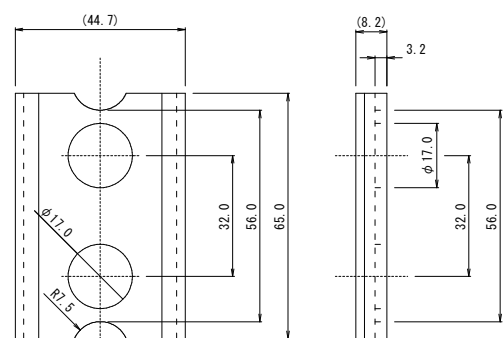


	H=2.9m	H=4.4m	H=4.7m	H=5.9m
A	7#300-2100	12#300-3600	13#300-3900	17#300-5100
L(リンク数)	2700(37リンク)	4200(47リンク)	4500(61リンク)	5700(77リンク)

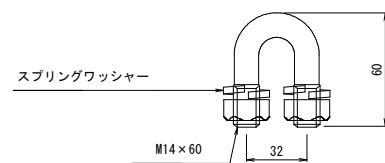
ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2



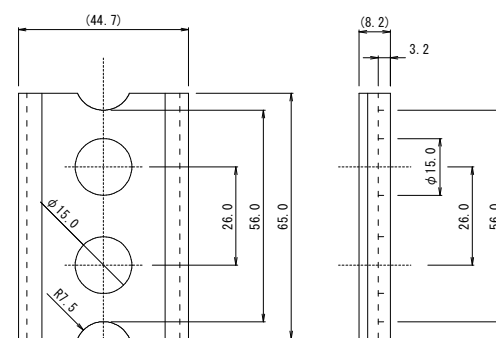
Uボルト用座金(φ18用)詳細図 S=1:1



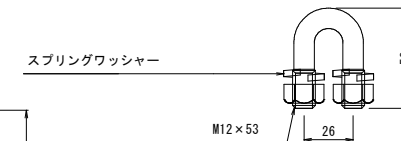
Uボルト(φ18用)詳細図 S=1:2



Uボルト用座金(φ12用)詳細図 S=1:1



Uボルト(φ12用)詳細図 S=1:2



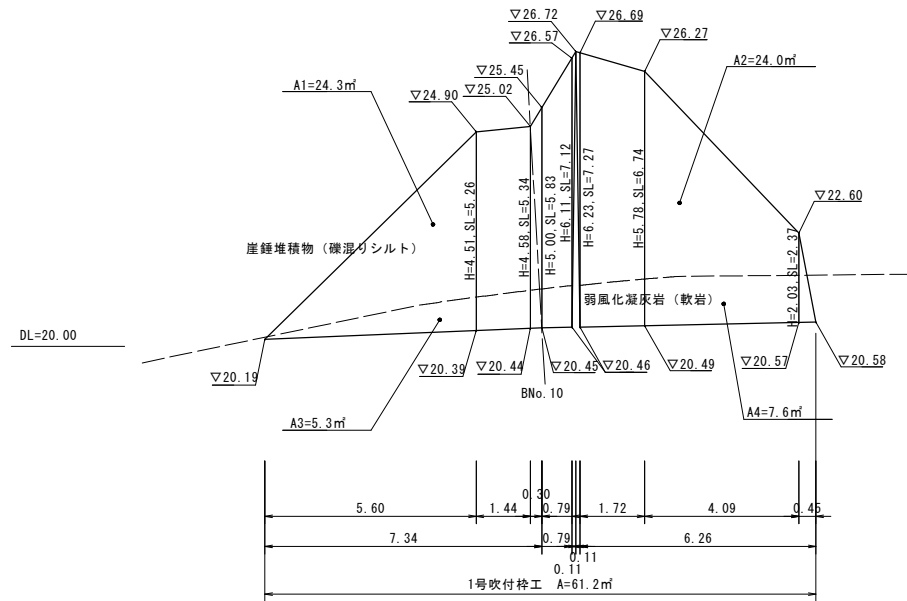
特記事項

現年 単県公共 実施設計

地区名	屋敷地区		
屋敷地区急傾斜地崩壊対策工事(2工区)			
図名	崩壊土砂防護柵部材詳細図(7)		
位置	鳥取市福部町栗谷		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 13 葉中の内 10		
令和 8 年度施工	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

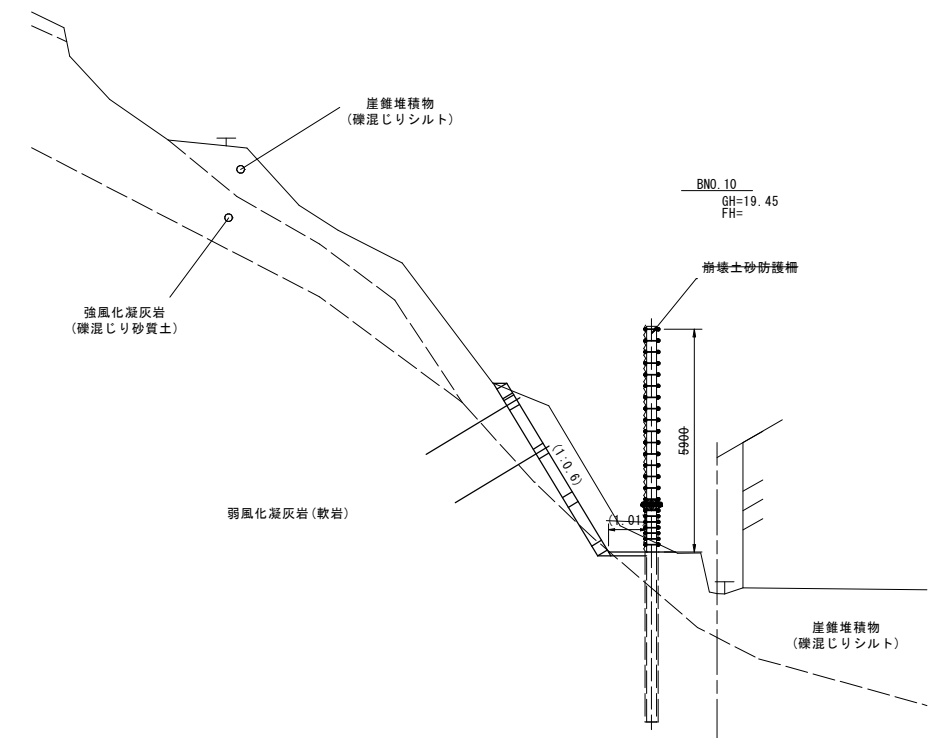
(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)

1号吹付枠工 (300×1,500×1,500、1:0.6) 展開図 (1/2) VS=1:100 HS=1:100

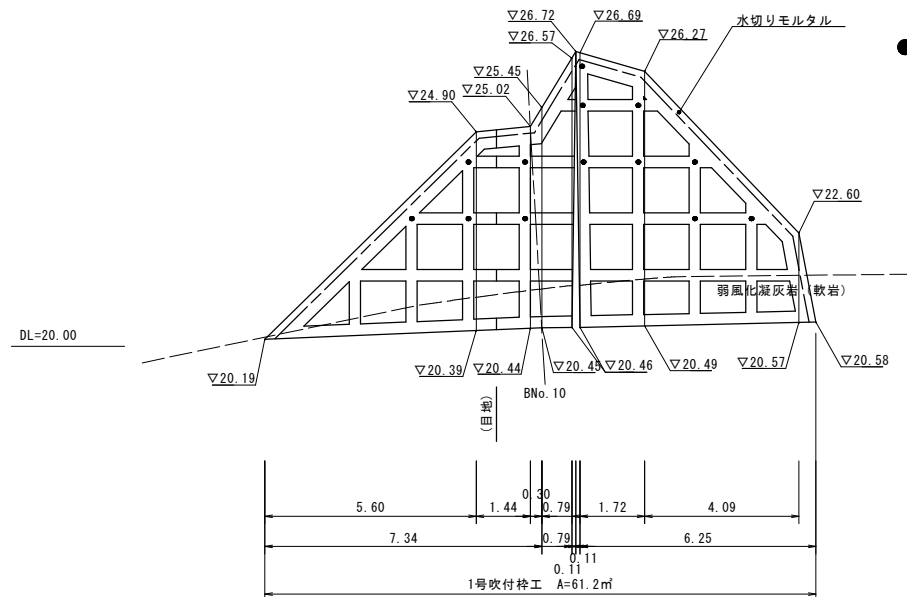


切土法面整形工
 ・粘性土 A = A1 + A2 = 24.3 + 24.0 = 48.3m²
 ・軟岩 I A = A3 + A4 = 5.3 + 7.6 = 12.9m²

標準断面図 S=1:100



1号吹付枠工 (300×1,500×1,500、1:0.6) 展開図 (2/2) VS=1:100 HS=1:100



●: 鉄筋挿入工 D19 L=2.9m、N=13本

- (注記) 1. 鉄筋挿入工は2.25m²(1.5m×1.5m)に1本を基本とする。
 2. 各段の最下段の鉄筋挿入工の施工位置は、最上段法枠から2段及び最下段より3段目以上の位置に設置する。
 3. 施工に先立って引抜き試験を実施し、極限周面摩擦抵抗が設計計算上の採用値以上であることを確認すること。
 ・産錐堆積物(礫混じりシルト) 0.024N/mm²
 ・強風化凝灰岩(礫混じり砂質土) 0.164N/mm²
 ・弱風化凝灰岩(軟岩) 0.800N/mm²
 4. 設計計算上では施工時の安全率が1.073(≧1.05)となって順巻き施工が可能となるが、切土のり面の状況より順巻き施工が困難と判断される場合は、逆巻き施工を行うこと。
 5. 確認試験は、37KN/本にて実施すること。

(R8) 現年 単県公共 実施設計

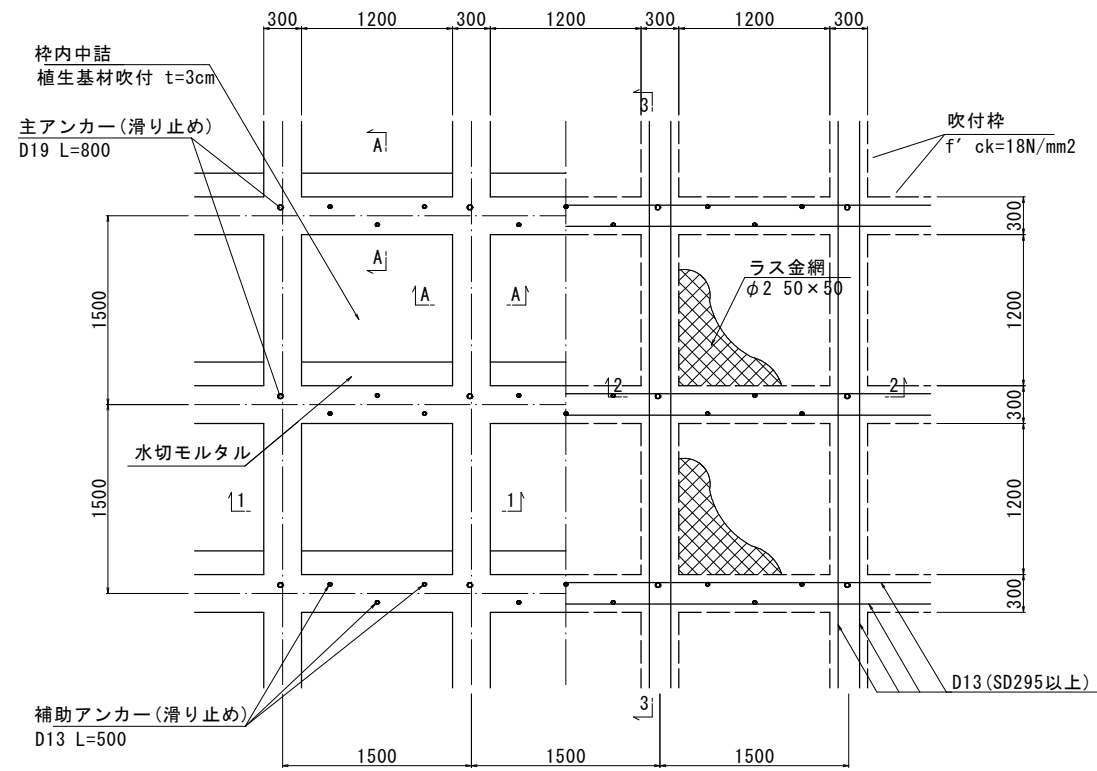
地区名	屋敷地区		
屋敷地区急傾斜地崩壊対策工事(2工区)			
図名	1号吹付枠工展開図		
位置	鳥取市福部町栗谷		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 13 葉中の内 11		
令和 8 年度施工	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)

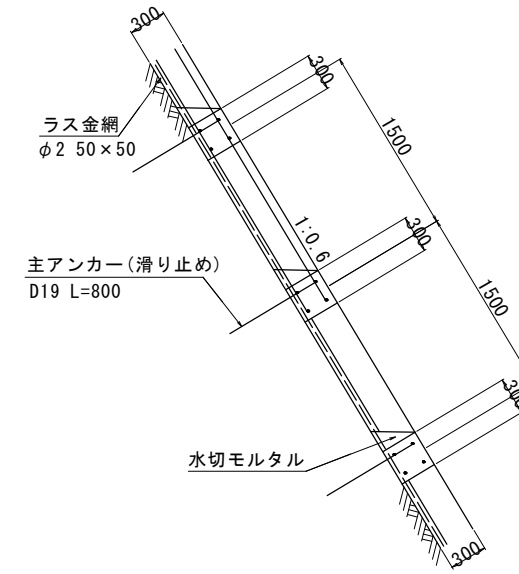
1号・2号 吹付 砕 工 詳 細 図

300 × 1,500 × 1,500、1:0.6

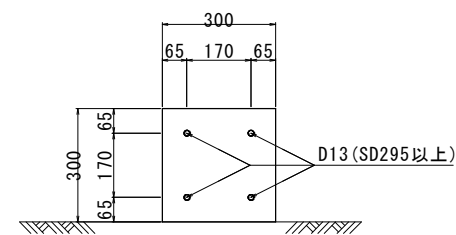
正面図 S=1:30



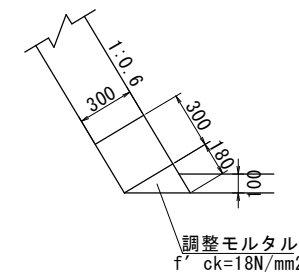
標準断面図 S=1:30
3-3



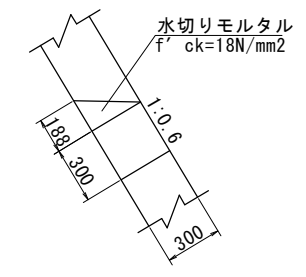
吹付砕断面図
縦砕・横砕 (A-A) S=1:10



調整モルタル詳細図 S=1:20

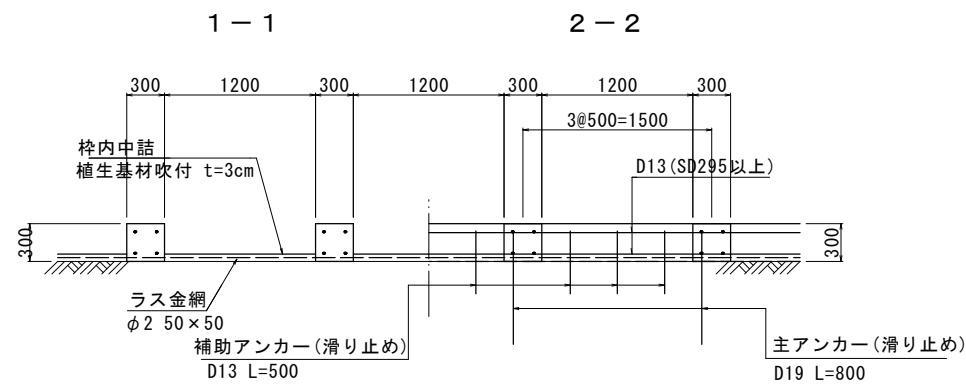


水切りモルタル詳細図 S=1:20



※水切りモルタルは、2%程度の排水勾配を付すこと。

断面図 S=1:30



現年 単県公共 実施設計

地区名	屋敷地区		
屋敷地区急傾斜地崩壊対策工事(2工区)			
図名	1号・2号吹付砕工詳細図		
位置	鳥取市福部町栗谷		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 13 葉中の内 12		
令和 8 年度施工	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

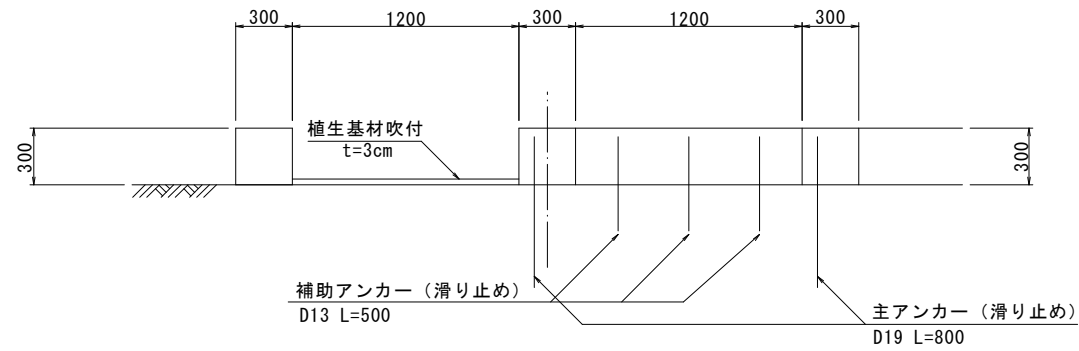
(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)

1号・2号 鉄筋挿入工構造図

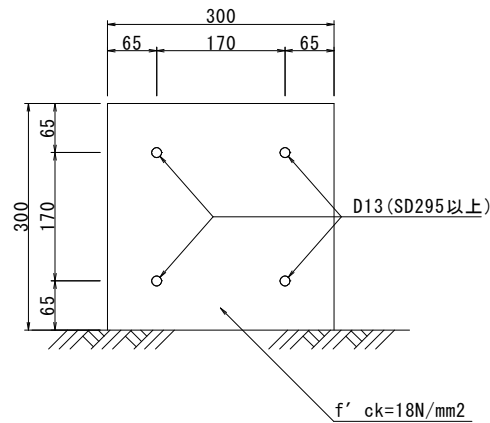
(1号 ; D19 L=2.9m、2号 ; D19 L=4.8m)

1-1 S=1:20

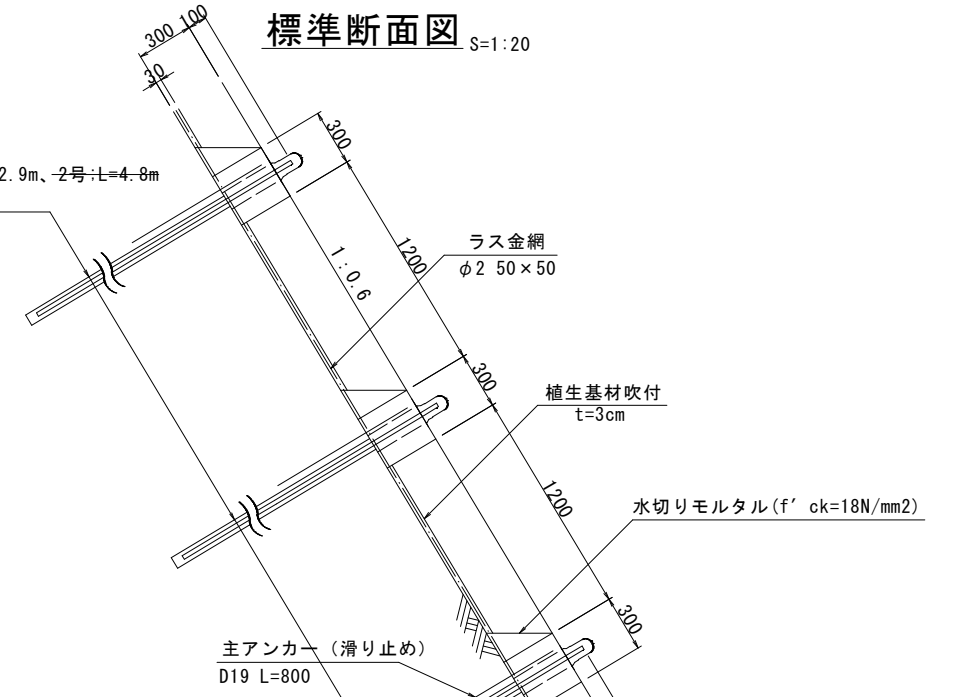
2-2 S=1:20



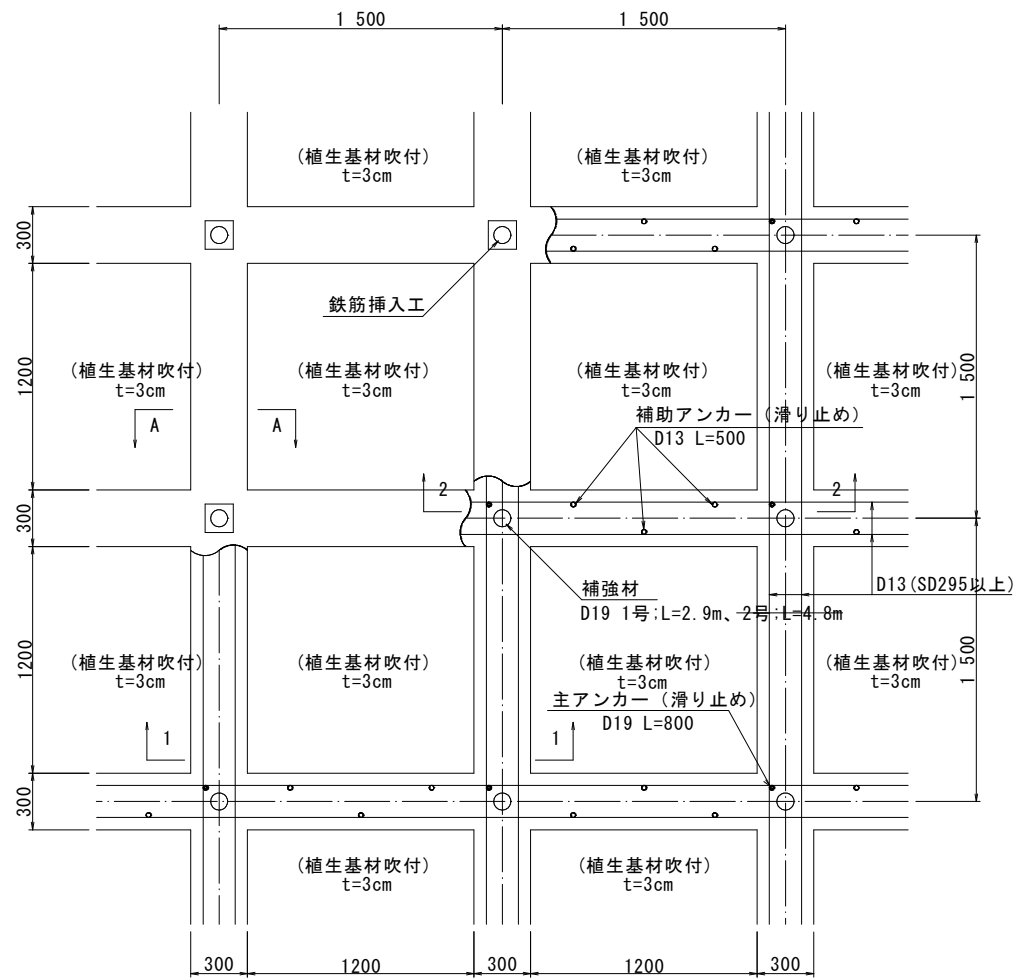
A-A断面 S=1:5



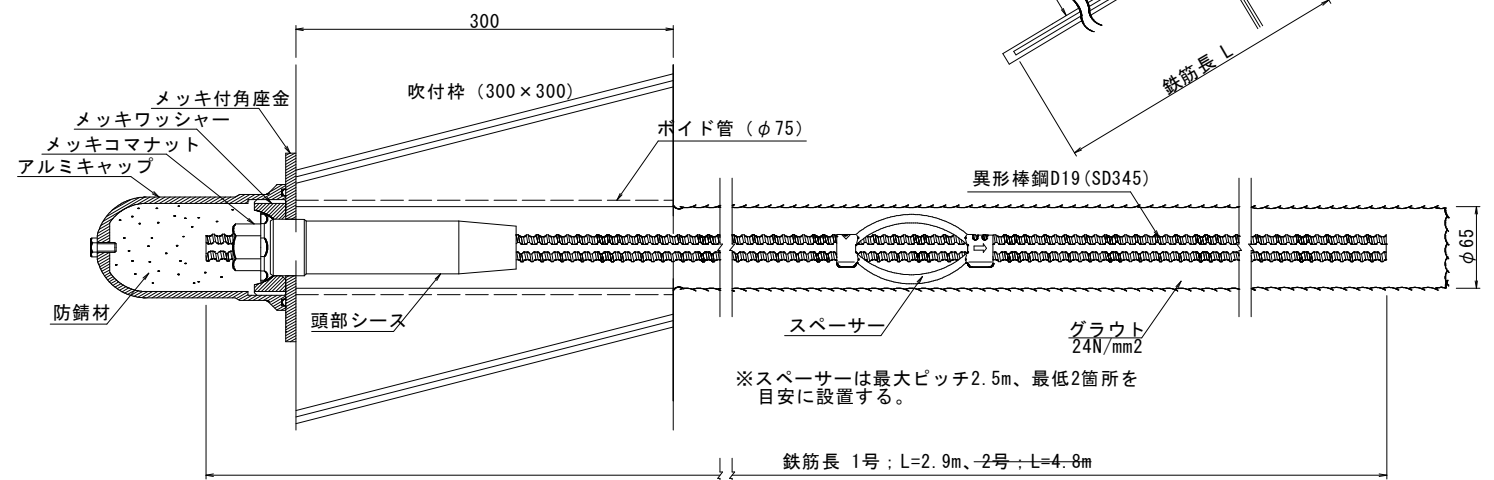
標準断面図 S=1:20



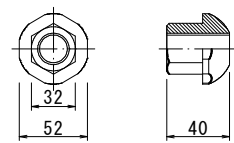
展開図 S=1:20



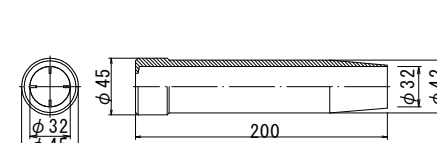
鉄筋挿入工詳細図 S=1:3



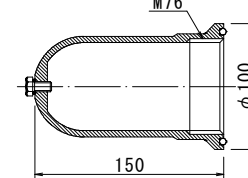
メッキコマナット (D19用)



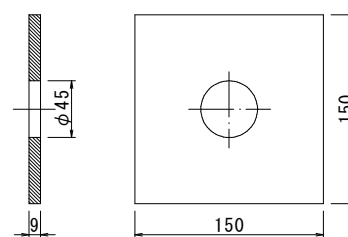
頭部シース



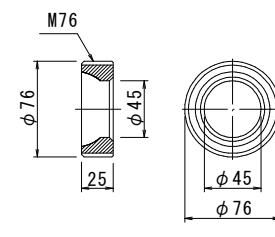
アルミキャップ



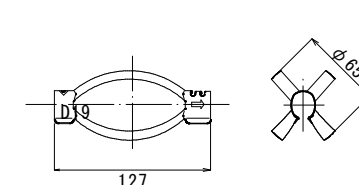
メッキ付角座金



メッキワッシャー



スペーサー



R8 現年 単県公共 実施設計

地区名	屋敷地区		
屋敷地区急傾斜地崩壊対策工事 (2工区)			
図名	1号・2号鉄筋挿入工構造図		
位置	鳥取市福部町栗谷		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 13 葉中の内 13		
令和 8 年度施工	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)